

●……財務省の発表(2月20日)では、1月の貿易赤字は単月で過去最大の2兆7000億円とか。貿易立国、輸出大国を旨として来たニッポン。1980年代半ば以降は、曲折こそあったが10兆円前後の貿易黒字を保って来たのがね。13年の11兆円超の赤字額はかつての黒字と赤字がそっくり反転したことになる。まあ4月の消費税増税前の駆け込み需要が異常に高まり輸入が増えた、と解釈できないこともありませぬが。

●……国力を示す国内総生産(GDP)は、速報値で2013年10ヶ月の数字が実質費則期比0・3%の増(内閣府発表)。個人消費は0・5%とちよっぴり低いです、住宅投資4・2%、公共投資2・3%と堅調、設備投資の1・3%も民間企業のやる気を見せているようです。GDPの4期連続プラスは、市場予想を下回ったとはいえ「アベノミクス」はそこそこ順調に推移している

●……厚生労働省が発表する働く人の残業代などを除いた月額平均賃

金ほどイライラさせられる数字は他にありませんね。『統計の詐術』の典型数字とみなされるのも当然。今回の2013年度の月額29万5700円は前年比0・7%減。ところが従業員1000人以上の大企業だと34万4600円だったをうて。99人以下の小規模企業が26万1500円。

この3月、大学を卒業する学生たちが賃金格差だけ見て大会社にそこがれる、仕事の中身は問わない、といえますから、大体3年ぐらいで会社を「やめた」という若者が増えてるのも分かるような気がします。

●……この調査で喜ばしいのは男女間の賃金格差がちよっぴり縮小したこと。女性のそれが23万2600円で男性の71・3%とか。もともと女性にして見れば、ちつとも喜ばしいことではなく「男と同じかそれ以上に仕事をしているのに差がつくなんて」と怒りを表に出す女性が増えて来てます。女性の地位向上の時代、同一労働で男女差別がある企業、これはもう経営者の猛省を促すしかありません。

●……NHK会長の慰安婦発言作家でNHK経営委員の「南京大虐殺はなかった」、首相補佐官の「米

国に失望した」発言など、ソチ冬季五輪でわき上がったっている「明るい時代」に不愉快な発言がゾロゾロ。海外のマスコミがこれらの発言に飛びついて書きたい放題の騒ぎよう。「言葉は人を殺す」ともいいます。もともと今に始まったことではなく昔から政治家を中心に「失言オンパレード」の時代がありました。その筆頭だった元首相の森某もフィギュアスケートの浅田選手について「見事にひっくり返った。あの子、大事なきには必ず転ぶね」とコメント。これが東京五輪・パラリンピック組織委員長、日本体育協会名誉会長の言うべき言葉ですかね。政界も引退、表舞台から去ったはずの男がまたぞる失言、愚言とは、これいかに。

●……世界最大の男がサウジアラビアにいました。体重600kg超とか。年齢は非公表で、推定10代後半〜20代前半とか。国王命令でこのほど入院、半年間で約320kgの減量に成功したそうです。医師団36人による特別チームが脂肪除去手術などを行い、体重を290kgまで減らしたそう。太っている人は相撲力士しか知りませんが、この肥満少年または青年は「笑顔くん」の愛称。

月刊公論 MONTHLY KōRON

4月号 第47巻4号

平成26年4月1日発行 毎月20日発売
本体価格848円(税別) 送料92円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社財界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611(代)、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。